

東日本大震災に関する学術調査・研究活動アンケート

アンケートの回答

I あなた（回答者）ご自身のことについて

問1 あなた（回答者）ご自身について、以下をお書きください。

【非公開項目】

氏名（必須）： _____

研究機関名・研究科/研究所名（必須）： _____

職位（必須）： _____

メールアドレス（必須）： _____

FAX（任意）： | _____ - _____ (☐ 勤務先 ☐ 自宅)

電話（任意）： | _____ - _____ (☐ 勤務先 ☐ 自宅 ☐ 携帯)

問2 あなたは現在または過去に日本学術会議の会員・連携会員・特任連携会員だったことがありますか。（あてはまるもの1つにチェック）

- ☐ 1 会員・連携会員・特任連携会員である（あった）
- ☐ 2 会員・連携会員・特任連携会員であったことはない

問3 あなたの専門分野は何ですか。(あてはまるもの1つにチェック)

※ 複数の分野にまたがる場合は「31 複合領域」にチェックした上で、1～30の該当する分野の番号を3つ以内でお書きください。※数字は半角で入力してください

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ 1 言語・文学 | ☐ 12 統合生物学 | ☐ 23 地球惑星科学 |
| ☐ 2 哲学 | ☐ 13 農学 | ☐ 24 情報学 |
| ☐ 3 心理学・教育学 | ☐ 14 食料科学 | ☐ 25 化学 |
| ☐ 4 社会学 | ☐ 15 基礎医学 | ☐ 26 総合工学 |
| ☐ 5 史学 | ☐ 16 臨床医学 | ☐ 27 機械工学 |
| ☐ 6 地域研究 | ☐ 17 健康・生活科学 | ☐ 28 電気電子工学 |
| ☐ 7 法学 | ☐ 18 歯学 | ☐ 29 土木工学・建築学 |
| ☐ 8 政治学 | ☐ 19 薬学 | ☐ 30 材料工学 |
| ☐ 9 経済学 | ☐ 20 環境学 | ☐ 31 複合領域 |
| ☐ 10 経営学 | ☐ 21 数理科学 | ⇒ _____ . _____ . _____ |
| ☐ 11 基礎生物学 | ☐ 22 物理学 | |

下書き保存

Ⅱ 「学術調査・研究活動」の名称等

問4 あなたが、東日本大震災に関連して実施した「学術調査・研究活動」の名称をお書きください。国際共同調査研究等英語名がある場合には英語名もお書きください。【非公開項目】

日本語名

英語名

問5 その「学術調査・研究活動」の実施主体の名称をお書きください。【非公開項目】

(記入例) ○○学会、○○大学○○研究室、○○調査グループなど。

問5 付問 その実施主体の責任者・リーダー（共同の場合は主要な方3名まで）のお名前をフルネームでお書きください。【非公開項目】

1) _____ 2) _____ 3) _____

問6 その「学術調査・研究活動」におけるあなたの役割はどれですか。（あてはまるもの1つにチェック）

- ☐ 1 責任者・リーダー（共同の場合を含む）
- ☐ 2 コアグループのメンバー
- ☐ 3 協力メンバー
- ☐ 4 その他（具体的に： _____）

下書き保存

Ⅲ 「学術調査・研究活動」の内容

ここからは問4にお書きいただいた「学術調査・研究活動」の内容について詳しくお尋ねします。

問7 その「学術調査・研究活動」の概要（目的、対象、方法、知見、その他特記事項）を簡単にお書きください。（各項目100字以内、100字以上は入力不可）

目的：

対象：

方法：

得られた主な知見：

その他特記事項：

問7 付問 また、その「学術調査・研究活動」の特徴を示すキーワードを8つ以内であげてください。

1)

2)

3)

4)

5)

6)

7)

8)

下書き保存

問8 その「学術調査・研究活動」は、どのようなテーマや課題に関わるものですか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

※〔自然事象〕〔被災や復旧・復興の分野〕〔注目するアクター〕〔福島第一原子力発電所事故関係〕〔その他〕の区別を問わず、あてはまるものはいくつでもチェックしてください。

〔自然事象〕

- ☐ 1 地震動・地殻変動
- ☐ 2 地質・地盤
- ☐ 3 津波
- ☐ 4 生態系
- ☐ 5 その他の自然事象（具体的に： _____）

〔被災や復旧・復興の分野〕

- ☐ 6 人的被害
- ☐ 7 社会インフラ
- ☐ 8 ライフライン
- ☐ 9 コミュニティ
- ☐ 10 住宅
- ☐ 11 職場・労働
- ☐ 12 農林水産業
- ☐ 13 商工業
- ☐ 14 災害時の避難・移動
- ☐ 15 情報、メディア
- ☐ 16 社会意識
- ☐ 17 医療、精神的ケア
- ☐ 18 福祉
- ☐ 19 教育
- ☐ 20 文化財
- ☐ 21 女性
- ☐ 22 災害弱者・災害時要援護者
- ☐ 23 法制度
- ☐ 24 復興計画・事業
- ☐ 25 その他の分野（具体的に： _____）

〔注目するアクター〕

- ☐ 26 国
- ☐ 27 都道府県・自治体
- ☐ 28 住民、住民組織
- ☐ 29 NPO・ボランティア
- ☐ 30 企業
- ☐ 31 専門家・専門団体
- ☐ 32 その他のアクター（具体的に： _____ ）

〔福島第一原子力発電所事故関係〕

- ☐ 33 原発事故発生の科学的工学的メカニズム
- ☐ 34 原発事故と社会システム
- ☐ 35 環境中の放射線量および放射性物質
- ☐ 36 放射性物質環境廃棄物の保管・管理
- ☐ 37 原発事故にともなう人体・健康への影響
- ☐ 38 原発事故にともなう食料生産への影響
- ☐ 39 原発事故にともなう環境への影響
- ☐ 40 廃炉
- ☐ 41 再生可能エネルギー
- ☐ 42 原発事故に関するその他の問題（具体的に： _____ ）

〔その他〕

- ☐ 43 その他（具体的に： _____ ）

問8 付問 問8で選択した中で、その「学術調査・研究活動」にとって最も中心的なテーマや課題を1つだけあげるとするとどれですか。その番号を記入してください。

※問8でチェックしたのが1つだけのときはその番号を記入してください。数字は半角で入力してください。

最も中心的なテーマや課題の番号は

問9 その「学術調査・研究活動」の目的はどれですか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

- ☐ 1 現状・実態の解明
- ☐ 2 情報発信
- ☐ 3 被災者への直接的支援
- ☐ 4 東日本大震災の復旧・復興施策への反映
- ☐ 5 将来の防災・減災施策のための基礎資料やデータの収集
- ☐ 6 防災・減災への国際貢献
- ☐ 7 その他（具体的に： ）

問10 その「学術調査・研究活動」の開始時期と終了時期はいつですか。

※現在まだ継続中の場合は、「2」に終了予定時期の見込みをお書きください。数字は半角で入力してください。

- 1 開始時期： （西暦） 20 年 月
- 2 終了（予定）時期： （西暦） 20 年 月

下書き保存

問11 その「学術調査・研究活動」は特定の地域を対象に実施されたものですか。

※ 「実施地域」とは学術調査・研究活動を実際に行ったフィールドをさします。

「地域」には、陸域だけでなく、海域や空域も含まれます。

※ 学術調査・研究活動の実施地域が複数の市区町村にわたる場合、
主な調査地域を最大3つまで選んでください。

※ 特定のフィールドを想定しない一般性を持った調査・研究活動の場合は、
「2 特定の地域に関わるものではない」にチェックしてください。

☐ 1 特定の地域を対象に実施した

⇒その地域はどこですか（最大3つまで）

調査地域① 都道府県:

市町村:

調査地域② 都道府県:

市町村:

調査地域③ 都道府県:

市町村:

☐ 2 特定の地域に関わるものではない

問12 その「学術調査・研究活動」が始まったきっかけはどれですか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

- ☐ 1 まず最初に、あなたまたは研究グループが必要だと考えた
- ☐ 2 政府や自治体から要請があった
- ☐ 3 住民から要請があった
- ☐ 4 マスメディアから要請があった
- ☐ 5 国際機関や海外の大学等からの要請があった
- ☐ 6 その他（具体的に： _____）

問13 その「学術調査・研究活動」の参加人数はどのくらいでしたか。学術調査・研究活動の全体を通じたおおよその人数でお答えください。

※数字は半角で入力してください。

A 責任者およびコアグループ・メンバー	約	名
B 協力メンバー（研究者）	約	名
C 協力メンバー（学生・院生・アルバイト等）	約	名
D その他（具体的に：_____）	約	名
	合計 約	名

問14 その「学術調査・研究活動」を実施するために用いた主な資金は何でしたか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

※数字は半角で入力してください。

	資金全体に占める比率	
☐ 1 調査メンバーの日常的な研究費	⇒ 約	%
☐ 2 所属機関の特別の資金	⇒ 約	%
☐ 3 科学研究費補助金	⇒ 約	%
☐ 4 国や自治体の補助金等	⇒ 約	%
☐ 5 財団等の補助金等	⇒ 約	%
☐ 6 私費	⇒ 約	%
☐ 7 その他（具体的に：_____）	⇒ 約	%
	合計	100 %

問14 付問 その「学術調査・研究活動」を実施するために用いた資金の金額（総額）はおおよそどのくらいでしたか。

※数字は半角で入力してください。

約 億 万円

問15 その「学術調査・研究活動」の実施に際して、次の中で連携や協力の関係があった団体や組織はありましたか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

- ☐ 1 国
- ☐ 2 地元の県
- ☐ 3 地元の市区町村
- ☐ 4 地元の住民・住民団体、NPO
- ☐ 5 地元の企業
- ☐ 6 地元の専門家団体（具体的に： _____ ）
- ☐ 7 地元以外の団体・組織（具体的に： _____ ）
- ☐ 8 日本学術会議、学協会
- ☐ 9 国連や国際的な機関・団体・組織、海外の大学（具体的に： _____ ）
- ☐ 10 マスメディア
- ☐ 11 その他（具体的に： _____ ）
- ☐ 12 とくに連携や協力の関係があった団体や組織はない

下書き保存

問16 その「学術調査・研究活動」の成果はどのような形でまとめましたか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

「1」～「8」のいずれかにチェックした方は、付問の該当欄に、具体的な書誌情報、URL等をお書きください。

※ あなたご自身だけでなく、研究グループ全体でお答えください。

※ 現在まだ継続中の場合は、現時点の成果をお答えください。

- ☐ 1 報告書を作成した
- ☐ 2 提言書や意見書を作成した
- ☐ 3 データベースを開設した
- ☐ 4 学術書として刊行した
- ☐ 5 論文や学会で発表した
- ☐ 6 成果をウェブサイトで公開した
- ☐ 7 データを公開した、または公開目的のアーカイブに寄託した
- ☐ 8 その他（具体的に： _____ ）
- ☐ 9 とくに成果のとりまとめや発表は行っていない

問16 付問 （問16「1」～「8」にチェックした方に）
下記の該当欄に、具体的な書誌情報、URL等をお書きください。

1. 報告書（著者名、書名、刊行元、発表年〔西暦〕等）

2. 提言書・意見書（著者名、書名、刊行元、発表年〔西暦〕等）

3. データベース（作製主体名、データベース名、発表年〔西暦〕等）

4. 学術書（著者名、書名、刊行元、発表年〔西暦〕等）

5. 論文・学会発表（主要なもの3点以内）

- ・論文の場合、著者名、論文名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年〔西暦〕等
- ・学会発表の場合、発表者名、題目、発表学会・会議名、発表年月日等

6. ウェブサイト（URL、作製・管理主体、作製・公開年〔西暦〕等）

7. データの公開・寄託（作製または寄託したデータアーカイブ名、作製・寄託年〔西暦〕等）

8. その他

下書き保存

問17 その「学術調査・研究活動」の成果の社会的反響はどうでしたか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

- ☐ 1 国や都道府県・自治体の施策に取り入れられた
- ☐ 2 住民の話し合いや意見に取り入れられた
- ☐ 3 マスメディアに取り上げられた
- ☐ 4 国連や国際的な機関・団体・組織の報告書に取入れられた
- ☐ 5 海外招聘講演やシンポジストとして参加発表した
- ☐ 6 その他の形で反響があった

具体的に：

- ☐ 7 とくに反響はなかった
- ☐ 8 まだ成果を発表していない

問18 その「学術調査・研究活動」について次のような実施上の問題はありましたか。（あてはまるものはいくつでもチェック）

- ☐ 1 調査・研究グループの立ち上げが大変だった
- ☐ 2 調査・研究グループの運営が大変だった
- ☐ 3 調査・研究のための資金の調達が大変だった
- ☐ 4 調査・研究のための資金の管理が大変だった
- ☐ 5 地元の自治体や住民、関係機関との調整が大変だった
- ☐ 6 国・都道府県との調整が大変だった
- ☐ 7 国連や国際的な機関・団体・組織、海外の大学等との調整が大変だった
- ☐ 8 所属する学会との調整が大変だった
- ☐ 9 他の調査・研究グループとの調整が大変だった
- ☐ 10 その他の問題があった

具体的に：

- ☐ 11 とくに実施上の問題はなかった

問19 その「学術調査・研究活動」がヒトを対象とする学術調査や研究である場合、研究倫理上、何か検討を要する問題がありましたか。（あてはまるもの1つにチェック）

「1 あった」にチェックした場合は、その問題の内容をお書きください。

- ☐ 1 研究倫理上検討を要する問題があった
- ☐ 2 研究倫理上検討を要する問題はなかった
- ☐ 3 ヒトを対象とする学術調査・研究活動ではなかった

研究倫理上検討を要した問題の内容：

問20 その「学術調査・研究活動」の内容や方法、成果取りまとめ等について、今振り返ってみて、何かさらに工夫や改善の余地があったとお考えですか。（あてはまるもの1つにチェック）

「1 あった」にチェックした場合は、考えられる工夫・改善の内容をお書きください。

- ☐ 1 工夫や改善の余地があった
- ☐ 2 工夫や改善の余地はとくにない（最善の調査・研究活動を行った）

考えられる工夫・改善の内容：

下書き保存

問21 その「学術調査・研究活動」についての、あなたご自身の評価をお尋ねします。(A～Jのそれぞれについて、「1」～「9」のいずれか1つにチェック)

A. 学術的に大きな意義があった

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	あてはまらない
☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 8

B. 東日本大震災・原発事故に関する施策の改善に大いに役に立った

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	あてはまらない
☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 8

C. 東日本大震災・原発事故の被災者・被害者の支援に大いに役に立った

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	あてはまらない
☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 8

D. 今後生じうる災害への備えを検討する上で大いに役に立った

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	あてはまらない
☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 8

E. 成果についての国際的な発信は十分できた

そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	あてはまらない
☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 8

F. 成果についての国際的な評価を十分に受けた

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない	あてはまらな い
● 1	● 2	● 3	● 4	● 5	● 6	● 8

G. 国や自治体と十分連携（交流）・協力できた

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない	あてはまらな い
● 1	● 2	● 3	● 4	● 5	● 6	● 8

H. 市民・住民と十分連携（交流）・協力できた

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない	あてはまらな い
● 1	● 2	● 3	● 4	● 5	● 6	● 8

I. 他の専門分野の研究者や学会と十分連携（交流）・協力できた

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない	あてはまらな い
● 1	● 2	● 3	● 4	● 5	● 6	● 8

J. 外国の研究者や国際的な機関・団体と十分連携（交流）・協力できた

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない	あてはまらな い
● 1	● 2	● 3	● 4	● 5	● 6	● 8

問22 今回の「学術調査・研究活動」のご経験に基づき、次の大災害前、災害渦中および大災害後の対策、制度設計、予算措置、政策・施策、学術会議や学協会との連携等について ご意見やご要望があれば自由にお書きください。

下書き保存

以上で質問は終わりです。
回答がお済みであれば、下の「回答結果の確認へ」のボタンをクリックしてください。回答結果の確認画面が現れます。

回答結果の確認へ

© 2020/01/10, supported by AllResearch/Sumada/All-education